

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	林建川 山原利行 村上武利 新谷友美子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	0人	0人	11人

前回の改善計画	<p>① 利用者をより知るためケアプランに目を通す。</p> <p>② 利用者との信頼関係を築くため誰もが積極的にコミュニケーションを取るようになる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>① ケアプランに目を通すことはできているが、現状の変化にケアプランが追いついていない。</p> <p>② 意識して関わるようにしている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3	8	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	7	3	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>新規利用者に関して、申し送りの確認と共にスタッフ間で情報交換をし、上手くいったケアは参考にするようにしている。特に夜勤時には必要不可欠である。</p> <p>情報交換の場として現場サイドでの簡単なディスカッションがその理由として上げられる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>申し送りだけでは必要な情報をカバーできず、現場のフィードバックができていない。</p> <p>利用者の状況は日々変わるのだが、介護記録に記入する時間がなく、記憶から落ちてしまうことが理由として上げられる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>スタッフ間での情報交換で得た内容をタイムリーに主任、係長、管理者に報告する。</p> <p>報告を受けたらケアプランとの整合性を図るためケアマネジャーとプランの見直しをする。</p> <p>月 1 回のモニタリングをぷらむの里ミーティングに盛り込む。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	林建川 山原利行 村上武利 新谷友美子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	2人	0人	11人

前回の改善計画
① ケアプランを読み、本人の思いを把握する。 ② 把握できたら実行する。 ③ ケアプランを読むだけでなく、本人の思いを傾聴する。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケアプランにある本人の思いと実際の本人の思いが違っていた。ニーズもケアプランとは違った。ケアプランは良いことばかり書いてあるが、ケアマネの代弁は現実と違っていることがわかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	3	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	6	2	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	3	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	5	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意思疎通ができる人とは毎日の目標を聞いたり提案をしている。 利用者の「無事で今日も終わりました」の言葉から、高齢者にとってその日が大事であることを知り、日々の目標が大切と認識できたため。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意思疎通の難しい人に対しては本人の「～したい」が聞き出せていない。 話してもわからないだろうとの介護者側の思い込みがある。 実践内容を発言し、振り返るミーティングの機会も少ない。 ケアプランが形骸化している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケアプランを作成したら、カンファレンスを開催し職員に落とし込む。 実践結果を月 1 回のぷらむの里ミーティングで検討する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 林建川 山原利行 村上武利 新谷友美子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	0人	11人

前回の改善計画	
① 体調の変化については、気付いた時に少人数のミーティングで援助方法を共有する。	
② 利用者の担当スタッフが意識的に情報収集に努める。	
③ 係長や主任は、スタッフが収集した情報を全スタッフに向けて発信する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① についてはスタッフ間の意見交換の必要性に対して皆の意識向上が見られる。	
② 担当制を取ることで関わりを持つようになり良い反面、担当意識が薄い職員もいる。入浴や送迎時は時間的に関わりが持てる業務だが、送迎は情報伝達しにくい。	
③ 収集した情報がタイムリーに報告できないこともあり情報漏れがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	5	0	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の状況に合わせた介護はできている。職員間の横の繋がりの情報交換で本人の状況変化に合わせ直ぐに対応できている。主任や係長に報告することで不在の職員にも申し送りができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用年数の長い利用者の場合、「以前の暮らし方」がわからなくなっている。利用者の心身状況が変わり、以前の暮らし方を今に反映することが難しくなっていることや、利用当初のように家族と関わる機会が少なくなり情報収集しにくい等が理由として上げられる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	日常生活については、スタッフ間での情報交換と上司への報告を前回同様継続実践する。「以前の暮らし方」については、ケアプランの更新時等を利用して家族から聞くようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 林建川 山原利行 村上武利 新谷友美子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	0人	11人

前回の改善計画
スタッフの役割分担を見直し、全てのスタッフが偏りなく関われるよう調整する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域への外出支援に同行するスタッフに偏りが見られた。
車で移動する場合はドライバーが限定されることもあり、幅広く役割分担ができない面もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	3	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	5	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	4	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	4	2	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ふれあい喫茶や再度山にある茶屋への外出等で月 1 回は外出する機会を持ち、地域と関わりを持てるよう支援している。毎月の恒例外出と事業所全体が認識して計画に入れているのがその理由である。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の住んでいる地域との関係を維持することは一部の利用者の除きできていない。
その理由としては、ぷらむの里で長時間過ごすことが多い、近所の様子が変わって付き合いがなくなっていること等が考えられる。家族が遠方にいる場合は、家族にも地域の様子がわからないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ぷらむの里の利用時間が多くなっている利用者では、地域を以前の家と限定せず、今暮らしているぷらむの里を地域と捉え、建物の屋上にある菜園も地域として散歩する等、柔軟に考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉岡あき 千原高志 杉原卓 水原知子 福元康子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	0人	11人

前回の改善計画
 利用者を中心に、関係する人、店、役所等々を図面に書き込む。壁面等に貼り、情報を得たらその都度書き込むようにし、皆が見てわかるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 エコマップを作成することができ地域を意識することができた。
 情報の追加までは現段階では至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	4	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	2	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	7	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	2	2	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 エコマップ作成により地域資源を把握する必要性を学ぶことができた。
 情報の共有は申し送りを確認することでできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 「通い」の人の自宅での生活が把握できていない。関わっている時間が短く、記録や報告だけでは理解できにくい。
 スタッフ各自がエコマップは作成したが、その結果を全員で共有する機会が持てていない。今後エコマップの活用を検討していく段階である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 エコマップの内容を更に充実させるため担当スタッフを交代しながら、新たな情報を追加していく。
 進捗状況をスタッフ全員で共有できるよう専用ファイルを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 吉岡あき 千原高志 杉原卓 水原知子 福元康子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	5人	3人	11人

前回の改善計画	地域の人と出会う機会を作るため、気候の良い時には利用者と一緒に近所を散歩する。
前回の改善計画に対する取組み結果	一部利用者との散歩は実施しているが、全員には実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	2	1	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	1	3	4	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	2	3	3	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	3	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
定期的な交流は実行できている。毎月決まっているため計画として取り入れられていることができている理由である。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス機関との会議や地域の活動に参加する機会がない職員がいる。日程が合わないことが多く機会を逃している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
これまで続けているふれあい喫茶に加え、再度山にある稲荷茶屋への外出を定期的続ける。会議やイベントへの参加を各職員が 1 回は経験できるように調整する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

7. 運営

メンバー 吉岡あき 千原高志 杉原卓 水原知子 福元康子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	2人	11人

前回の改善計画
① 社内での自由な意見発信として、意見箱をタイムカードの横に置いてみる。 ② 職員間の交流を図るため飲み会等を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果
① ②とも実施に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	2	7	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	3	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	2	4	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域ボランティアがレクリエーションとして各種教室を定期的で開催したり食器洗いのため来所している。ボランティア受け入れ態勢が整っているためといえる。 年 1 回スローガンを決めて、それに沿った行動ができているか毎月書き出して職員間で内容を共有している。今年度の目標として計画的に取り入れているためと考える。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のあり方について意見を言う機会としての意見箱や飲み会を実行することができなかった。日々の業務に追われ、計画を具体化しようとする意気込みがなかったように思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新たな課題として、忘れ物に関する苦情が多いことが職員間の共通認識として挙がっている。以前活用していた持ち物リストを復活させる等して、忘れ物に関する苦情を減らしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 26 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉岡あき 千原高志 杉原卓 水原知子 福元康子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	0人	11人

前回の改善計画
① 職場外研修の案内を全職員が閲覧できるようにする。 ② 職場内で介護技術スキルアップのため個別対応で研修する機会を持つ。 ③ ヒヤリハット報告の分析をミーティングで定期的実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
職場内で介護技術スキルアップのための個別研修をする機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	3	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	5	2	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	2	5	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	6	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ヒヤリハットをミーティングで取り上げて検討している。 研修報告は必ず実施している。 計画的に行っているためできていると考える。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	職場外研修は職員全員に順番が回らないため参加できていないこともある。 資格取得やスキルアップ研修は個人の判断で参加しているため状況にバラつきがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	月 1 回のミーティングで研修や連絡会参加者が報告することは継続する。 不参加者に対しては個別レクチャーをして内容の周知を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 28 日 (14 : 30 ~ 15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 増田和男 窪田愛芳 新谷友美子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	0人	11人

前回の改善計画	① 接遇研修をミーティングで繰り返し実施する。 ② プライバシー保護について、実践場面での振り返りをミーティングで実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	① ②ともミーティングで実施しているが、スタッフの意識に個人差があり内容が落ちていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
②	虐待は行われていない	6	5	0	0	11
③	プライバシーが守られている	7	4	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	1	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	6	2	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待は行われていないと認識している。 これって虐待的？何でこれが拘束？等疑問の言葉が職員に浸透しているため。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること トイレ内に付き添えないため開けたままにしておくことがある。 時間が来たからと無理矢理トイレに連れて行ったり、立ち上がろうとするのを止めるような場面がある。 排泄の失敗からの回避や転倒予防が優先してしまうため、その行為が身体拘束と結びつかない。 成年後見制度については制度自体を知らない職員もいる。制度を利用している利用者がいないこともあり話題にならないためと考える。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 人権やプライバシーについての一定の理解はできているが、どの場面がそれぞれに相当するのかの事業所としての基準が曖昧なままである。 実践場面を通しての研修をミーティングで繰り返し実施し、事業所としての基準作りをする。
---------------	--